0906874HJ7501

MITSUBISHI

インダクトファン

形　名

JD-30S$_3$・40S$_3$・65S$_3$・80S$_3$・100S$_3$・150S$_3$
JD-80T$_3$・100T$_3$・150T$_3$　（標準形）
JDU-30S$_3$・40S$_3$・65S$_3$・80S$_3$・100S$_3$・150S$_3$
JDU-80T$_3$・100T$_3$・150T$_3$　（消音形）

据付工事・取扱説明書

お客さまへ

ご使用の前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに添付別紙の「三菱業務用 / 産業用換気送風機 修理窓口・ご相談窓口」とともに保管してください。

工事店さまへ

据付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に据付けてください。
据付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。
■この製品には単相製品と３相製品があります。電源を確認して据付工事を行ってください。

■据付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

1 安全のために必ず守ること

（お客さまへ）（工事店さまへ）

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または建物・機械などの損害に結びつくもの

お客さまへ

⚠警告

水ぬれ禁止	**製品を水につけたり、水をかけたりしない** ショートや感電の原因。
分解禁止	**どんな場合でも改造はしない 分解修理は修理技術者以外の人は行わない** 火災・感電・けがの原因。 修理はお買上げの販売店または当社の「三菱業務用 / 産業用換気送風機修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。
接触禁止	**運転中は危険ですから、製品の中に指や物を入れない** けがの原因。
	電源が入ったままで運転が停止しているとき、異常時（こげ臭いなど）・停電時は、製品には絶対にふれない 突然運転し始めてけがや感電の原因。
ぬれ手禁止	**ぬれた手で操作をしない** 感電やけがの原因。
指示に従う	**お手入れや保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切る** 感電やけがの原因。

⚠注意

禁止	**製品に異常な振動が発生した場合は使用しない** 製品・部品の落下によりけがの原因。
指示に従う	**長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカを切る** 絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因。

工事店さまへ

⚠警告

禁止	**爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生するおそれのある場所には据付けない** 爆発や火災の原因。
	定格電圧・定格周波数以外では使用しない 火災・感電の原因。
指示に従う	**燃焼器具の排気ダクトには据付けない** 火災の原因。
	煙突で排気する燃焼器具を設置した部屋の排気に使用する場合は、排気ガスが室内に逆流しないよう、十分な大きさの給気口を設置する 一酸化炭素中毒を起こす原因。
	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に製品および製品に接続された金属製ダクトが貫通する場合、製品および金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう据付ける 漏電した場合、発火の原因。
	漏電ブレーカを必ず設置する 漏電のときに感電の原因。
	保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切る 感電やけがの原因。
アース確認	**アース工事は必ず有資格者である電気工事士が電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行う** 故障や漏電のときに感電の原因。

⚠注意

禁止	**直接炎があたるおそれのある場所には据付けない** 火災の原因。
	湿度 90%以上の空気を製品内に通さない 感電や火災の原因。
	製品は屋外など雨のあたる場所や浴室など湿気の多い場所（湿度 90%以上）には据付けない 感電や火災の原因。
指示に従う	**製品の据付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う** 落下によりけがの原因。
	電気工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備技術基準に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。
	開梱・据付け・取付け・保守点検およびお手入れの際は手袋を着用する 端面などでけがの原因。

2 据付け前のお願い

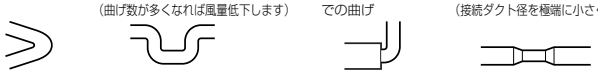
（工事店さまへ）

規　制

- 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用しなければならないよう義務づけられていますので、２mの鋼鈑立上がりダクトを取付ける（φ 150 以下の場合のみ）か、煙逆流防止ダンパーを取付けて点検口を必ず設けてください。
- 配管用システム部材については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

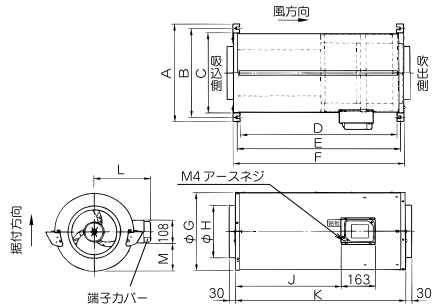
お 願 い

- 据付場所が悪いと故障の原因になります。次のような場所には据付けないでください。
  ・40℃以上になる場所　・－10℃以下になる場所　・常温において相対湿度が 90%を超える場所
  ・氷結するおそれのある場所　・ほこりや油煙の多い場所
  ・腐食性ガスの発生する場所や化学薬品を扱う場所
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて 1/100 以上の下りこう配をつけ、外壁から本体までのダクト長さを 1m 以上確保し、先端にウェザーカバー（市販品）などを据付けることをおすすめします。
- 次のようなダクト工事はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因になります）
  - 極端な曲げ
  - 多数の曲げ（曲げ数が多くなれば風量低下します）
  - 吐出口のすぐそばでの曲げ
  - しぼり（接続ダクト径を極端に小さくする）

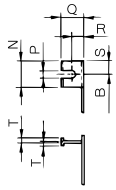


3 外形寸法図

（工事店さまへ）



■天吊り金具詳細図



※形状は機種により異なります

変化寸法表（ 標準形 インダクトファン） 単位（mm）

形　名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	Q	R	S	T
JD-30S$_3$	316	276	236	284	317	352	177	150	158	385	131	35	40	11	34	17.5	20	7.5
JD-40S$_3$	343	303	263	374	407	442	243	200	190	437	193	68	40	11	34	17.5	20	7.5
JD-65S$_3$	393	353	313	341	374	409	293	250	125	404	221	93	40	11	34	17.5	20	7.5
JD-80S$_3$																		
JD-80T$_3$																		
JD-100S$_3$	440	400	360	439	472	507	340	300	170	502	246	116	40	11	34	17.5	20	7.5
JD-100T$_3$																		
JD-150S$_3$	490	450	410	417	450	485	390	350	160	480	272	141	40	11	34	17.5	20	7.5
JD-150T$_3$																		

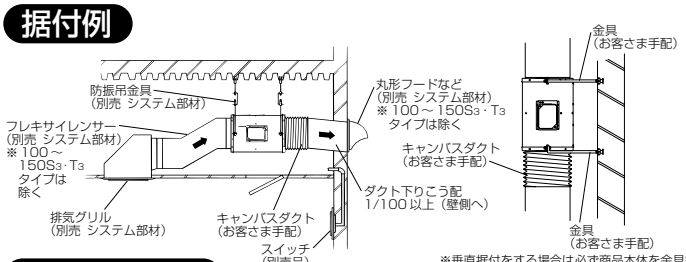
変化寸法表（ 消音形 インダクトファン） 単位（mm）

形　名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	Q	R	S	T
JDU-30S$_3$	316	276	236	637	670	705	231	150	472	700	170	66	40	11	34	17.5	20	7.5
JDU-40S$_3$	360	320	280	737	770	805	274	200	526	800	215	83	40	11	34	17.5	20	7.5
JDU-65S$_3$	458	418	378	737	770	805	372	250	496	800	267	132	40	11	34	17.5	20	7.5
JDU-80S$_3$																		
JDU-80T$_3$																		
JDU-100S$_3$	478	438	398	907	940	975	392	300	627	970	277	142	40	11	34	17.5	20	7.5
JDU-100T$_3$																		
JDU-150S$_3$	633	580	527	866	928	976	517	350	616	970	341	205	53	13	55	24	27	11.3
JDU-150T$_3$																		

4 据付方法

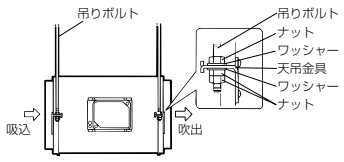
（工事店さまへ）

据付例



※垂直据付をする場合は必ず商品本体を金具等で下からささえてください。

本体の据付け



※形状は機種により異なります

1. 外形寸法図を参照し強固な据付場所に市販の吊りボルトを埋め込む。（取付例参照）
2. 本体が水平になるように本体を吊りボルトに据付ける。吊りボルトに合う市販のワッシャー・ナット（M10）を使用し締め付ける。

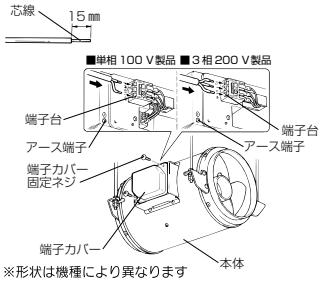
お願い

- 吸込側と吹出側を間違えないよう、本体の銘板の風方向に従って据付けてください。
- 振動防止のため防振吊金具をご使用ください。

電気工事

お願い

- モータの過負荷保護のためモータブレーカ又は電磁開閉器（電磁接触器＋サーマルリレー）の過負荷保護装置を電気設備技術基準や内線規程に従って設置してください。
  過負荷保護装置は必ず機器１台ごとに取付けてください。
  過負荷保護装置の選定は「⑧仕様」の最大過負荷電流の 1.2 ～ 1.5 倍程度を目安にしてください。
- スイッチの容量選定にあたっては起動電流×接続台数の容量としてください。
  また、電磁接触器を操作するスイッチ容量は電磁接触器の操作コイル電流以上としてください。
- 「入」・「切」運転および「強」・「弱」切換運転する場合は、コントロールスイッチ（別売品）が必要です。結線および使用方法はコントロールスイッチに付属の据付説明書を参照してください。なお、３相製品はコントロールスイッチのみでは制御できません。必ず３相用コントロールボックス（別売品）または電磁接触器と組合わせて結線してください。
- 単相 100 V製品（JD-30S$_3$・JDU-30S$_3$はのぞく）で誤結線されますと運転はできません。場合によってはブザーのような音がします。正しい結線をしてください。
- 単相 100 V製品（JD-30S$_3$・JDU-30S$_3$はのぞく）を弱運転する場合、速結端子の「共通」と「弱」のみに電源コードを直接接続しても運転はできません。
- ３相 200V 製品は、ダクト接続する前に必ず回転方向を確認してください。
- ３相 200V 製品の電源接続は、本体の結線図銘板をよく確認し、電源線をU、V、Wに正しく接続してください。接続を間違えますと逆回転します。（風量低下の原因になります）
  回転方向が逆の場合は３本の電源のうち２本を入換えてください。



※形状は機種により異なります

結線のしかた

（1）端子カバー固定ネジ２本をはずし、端子カバーをはずします。

（2）結線図を参照して結線を行います。
先端を 15 mm皮ムキした芯線（ＶＶＦケーブル φ 1.6、またはφ 2）を間違えないように端子台に確実に奥まで差し込みます。
- 端子台は機種により形状が異なります。

（3）D 種接地工事を行う。

（4）結線が完了しましたら、正常に運転することを確認し、端子カバーを元通り取付けます。

4 据付方法 つづき

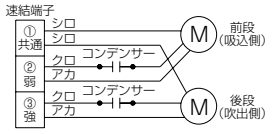
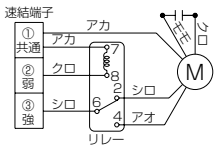
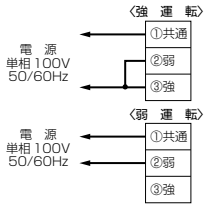
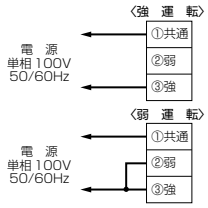
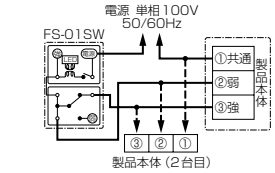
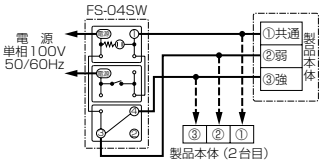
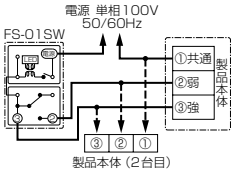
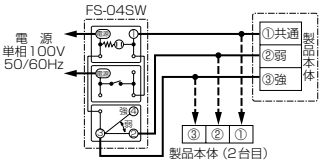
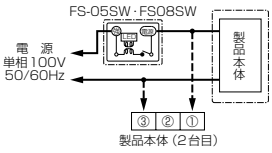
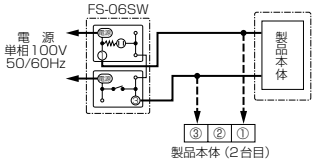
工事店さまへ

■結線図

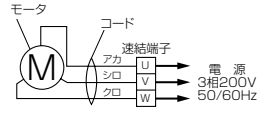
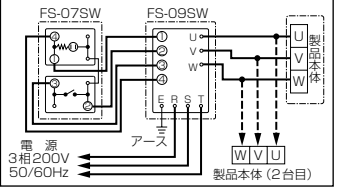
太線部分はお客さまにて電源コード（ＶＶＦケーブルφ 1.6またはφ 2）を手配して結線してください。
但しアース線は 1.25 ㎟ 以上を使用してください。

● JD-30S₃・JDU-30S₃は、製品本体の速調時の結線方法が異なりますので本体結線図を参照してください。

■単相100V

	JD-30S₃・JDU-30S₃	JD-40S₃～150S₃・JDU-40S₃～150S₃
内部結線図		
電源接続図		
コントロールスイッチの強・弱ノッチ用	■FS-01SWの場合（定格4A）  ■FS-04SWの場合（定格15A） 	■FS-01SWの場合（定格4A）  ■FS-04SWの場合（定格15A） 
コントロールスイッチ単ノッチ用	共 通 ■FS-05SW・FS-08SWの場合（定格12A）  ■FS-06SWの場合（定格15A） 	

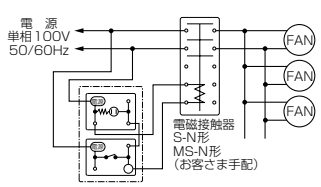
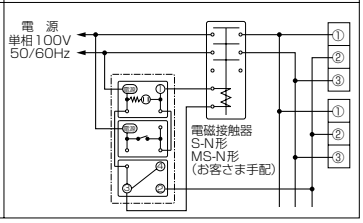
■3相200V

	JD-80T₃～150T₃	JDU-80T₃～150T₃
電源接続図	■単ノッチ仕様のため、強・弱切換運転はできません。 	■FS-07SW・FS-09SW組合わせの場合 

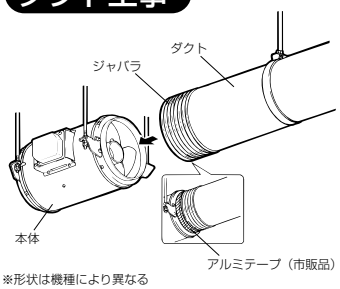
お願い

● 接続台数の総容量がコントロールスイッチの容量（15A）を越える場合は、電磁接触器を使用してください。また、3相用コントロールボックスの容量は、定格（10A）、起動（30A）です。
電磁接触器の容量は個々のインダクトファンの起動電流以上で選定してください。

〈単相 100 Vの複数台運転結線図……参考〉

FS-06SW	FS-04SW
	

ダクト工事



※形状は機種により異なる

ダクト工事を行う。

- 吸込側・吹出側ともダクト接続口にダクトをしっかり差し込み、リベットで固定し、風漏れのないよう市販のアルミテープでテーピングする。
- ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊る。
- 振動、芯ずれ防止のため、ジャバラを使用する。

5 試運転

工事店さまへ

据付け、ダクト工事、電気工事終了後は、必ず試運転を行い、正常に運転できることを確認してください。

1. 製品は確実に据付けてありますか。
2. 電源コードに傷・いたみはありませんか。
3. 電源電圧は正しいですか。
4. 正しく結線されていますか。
5. 正しくアース工事はしてありますか。
6. 異常な振動や騒音・風漏れはありませんか。
7. 回転方向は逆ではありませんか。（3相製品の場合、3本の電源のうち2本を入換える）
8. 羽根は回転しますか、回転は遅くありませんか。（回転しないか遅い場合は、結線が正しく行われているか確かめる）

6 保守点検

お客さまへ

■モータの軸受けには、両シールドの玉軸受が使用してありますので、注油の必要はありませんがグリースの寿命は、約1万時間ですので使用状況（異常音・風量減少など）によっては、点検のうえベアリングの交換が必要です。
ベアリングの交換は専門の工事店に依頼してください。

過負荷保護装置について

モータに過負荷保護装置として、温度ヒューズまたは、自動復帰形サーマルプロテクターが内蔵されているものがあります。
拘束、過負荷、欠相運転、異電圧印加、あるいは周囲温度が基準以上に高い場合には上記過負荷保護装置が自動的に動作し回転が止まることがありますので、電源を切り原因を取り除いてください。再運転の場合には、以下を実施してください。

●温度ヒューズ内蔵機種……単相 100V 機種
〈処置〉ヒューズが溶断し通電不能となり再運転できません。電源を切り、専門の工事店へモータ交換を依頼してください。

●自動復帰形サーマルプロテクター内蔵機種……3相 200V 機種
〈処置〉電源を切り、モータが冷えてから再運転してください。
電源を切らず通電したまま放置しますとサーマルプロテクターが動作を繰り返し、接触不良や接点溶着につながるおそれがあります。この場合は、モータ交換が必要となります。電源を切り専門の工事店へモータ交換を依頼してください。

7 アフターサービス

お客さまへ

三菱インダクトファンのアフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱業務用/産業用換気送風機 修理窓口・ご相談窓口」（別紙）にご相談ください。

補修用性能部品の保有期間

当社は、この**三菱** 標準形 **インダクトファン・三菱** 消音形 **インダクトファン**の補修用**性能部品**を製造打切り後**7**年保有しています。
補修用**性能部品**とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

8 仕 様

お客さまへ

形 名	電 源	公称出力（W）	極数（P）	接続ダクト寸法（㎜）	質量（kg）	最大負荷電流（A）	起動電流（A）
JD-30S₃	単相100V 50/60Hz	15	2	φ150	5.5	0.52/0.60	0.55/0.60
JD-40S₃	単相100V 50/60Hz	40	4	φ200	6.7	0.76/0.84	1.60/1.51
JD-65S₃	単相100V 50/60Hz	25	4	φ250	8	0.83/0.88	1.11/1.07
JD-80S₃	単相100V 50/60Hz	45	4	φ250	9	0.95/1.16	1.68/1.61
JD-100S₃	単相100V 50/60Hz	100	4	φ300	13	2.03/2.39	3.66/3.58
JD-150S₃	単相100V 50/60Hz	200	4	φ350	16	3.25/4.32	7.84/7.46
JD-80T₃	3相200V 50/60Hz	60	4	φ250	9	0.35/0.39	0.93/0.86
JD-100T₃	3相200V 50/60Hz	255	4	φ300	13	1.20/1.15	3.20/2.96
JD-150T₃	3相200V 50/60Hz	215	4	φ350	15	1.22/1.47	4.02/3.61
JDU-30S₃	単相100V 50/60Hz	15	2	φ150	11	0.51/0.59	0.55/0.60
JDU-40S₃	単相100V 50/60Hz	40	4	φ200	15	0.71/0.73	1.60/1.51
JDU-65S₃	単相100V 50/60Hz	25	4	φ250	21	0.77/0.82	1.11/1.07
JDU-80S₃	単相100V 50/60Hz	45	4	φ250	22	0.84/1.04	1.68/1.61
JDU-100S₃	単相100V 50/60Hz	100	4	φ300	30	1.91/2.19	3.66/3.58
JDU-150S₃	単相100V 50/60Hz	200	4	φ350	46	3.01/3.95	7.84/7.46
JDU-80T₃	3相200V 50/60Hz	60	4	φ250	22	0.36/0.42	0.93/0.86
JDU-100T₃	3相200V 50/60Hz	255	4	φ300	30	1.18/1.06	3.20/2.96
JDU-150T₃	3相200V 50/60Hz	215	4	φ350	45	1.13/1.27	4.02/3.61

注）最大負荷電流及び起動電流は強ノッチの値です。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話 0573−66−2111

この説明書は、再生紙を使用しています。